NIPPON ANTENNA

取扱説明書

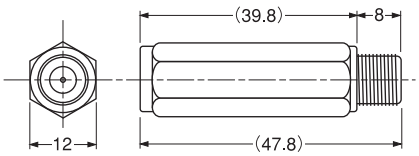
地上デジタル放送対応 UHFブースター

UHF増幅型 MODEL UPA16

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

外観および寸法図

単位：mm
質量：20g

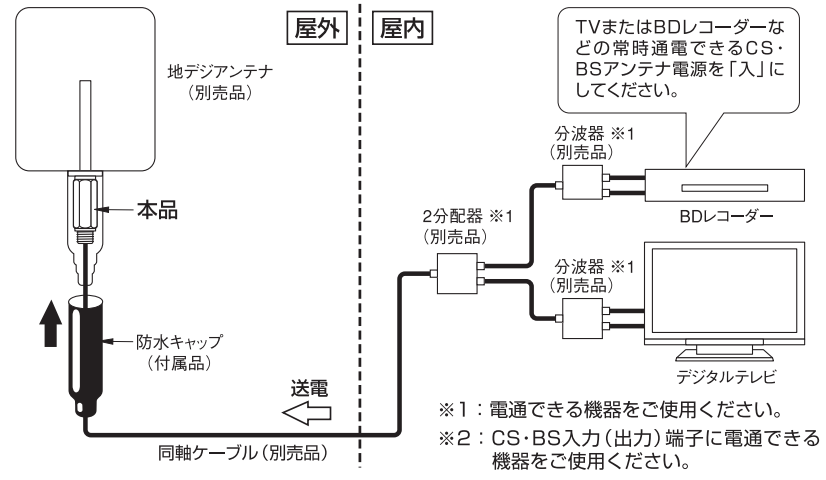


特　長

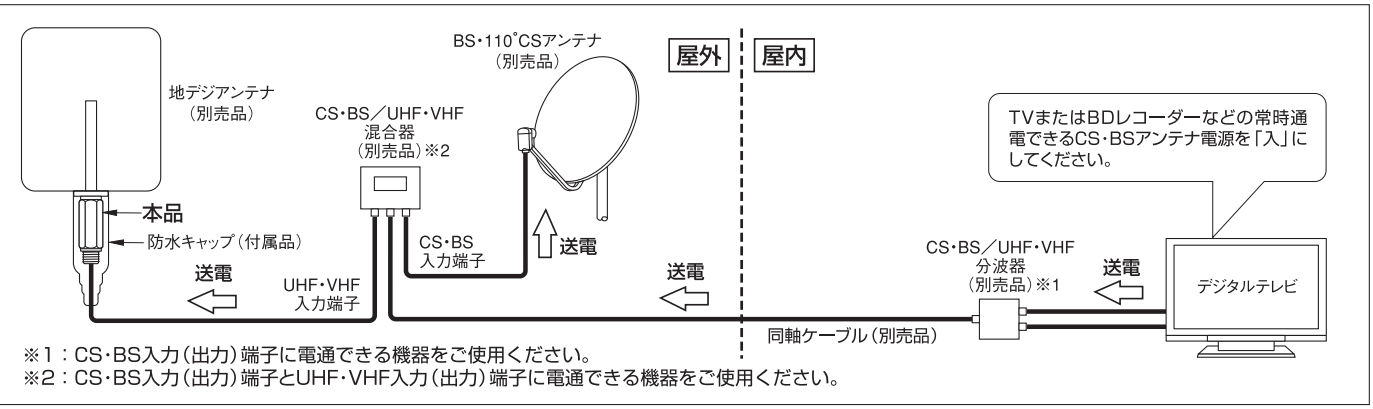
1. **低雑音設計**
   本品は低雑音設計の地上デジタル放送対応UHFブースターです。
2. **地上デジタル放送のブロックノイズを解消**
   地デジアンテナに直接接続すると、地デジ信号の信号品質が低い場合に発生するブロックノイズ（モザイク状の雑音）の解消に効果があります。
3. **業界最小サイズ**
   業界最小サイズを実現しました。（2010年1月現在、当社調べ）
4. **簡単取付**
   レベル調整がいらないので地デジアンテナに取付けるだけで簡単にご使用できます。
5. **シールド構造**
   増幅部はシールド構造となっていますので。電波の漏えいや飛込み防止に効果があります。
6. **UHF帯域710MHz対応**
   710MHz以上で予定されているサービスの電波による影響を軽減できるフィルターを内蔵しています。

使用例および接続例

●使用例1〈地デジのみを受信する場合〉



●使用例2〈CS・BSと地デジを混合して受信する場合〉



標準性能表

項目＼型名	UPA16
周波数帯域	UHF
受信チャンネル（ch）	13～52
利得（dB）	14～18
適正入力レベル（dBμV）	40～75
定格出力レベル（dBμV）	93（9波）
雑音指数（dB）	1.5
入力・出力インピーダンス（Ω）	75（F型）
電圧定在波比	3以下
相互変調［IM3］（dB）	−68以下（9波）
重畳電源（V／A）	DC15／0.03
使用温度範囲（℃）	−10～＋40　※1

※1　本体周囲温度

●同梱品　防水キャップ……1個
取扱説明書……1部

使用上の注意

- ●本品は地上デジタル放送用（UHF）です。VHF、BS・CS放送にはご使用できません。
- ●強電界地域や既にブースターを使用している場合、ビルなどの反射波や電波が混信している地域では十分な効果が得られない場合があります。
- ●地デジアンテナの受信レベルが低いと、地上デジタル放送がまったく映らない場合があります。
- ●本品は適正入力レベル以上の受信環境で使用すると過入力になり、受信ができない場合があります。このような場合、取りはずして受信してください。
- ●本品とテレビまたはBDレコーダーなどの間に混合器などを接続する場合は、必ず電流通過型の機器をご使用ください。電流通過型以外の機器はご使用にならないでください。
- ●入力端子・出力端子の配線は、接続例にしたがい確実におこなってください。
- ●出力端子のケーブルは束ねたり、本品に巻きつけないでください。
- ●ブースターの配線には同軸ケーブルをご使用ください。
- ●作業中ケガをしないように、十分注意してください。
- ●本品を取付ける際は、テレビまたはBDレコーダーのCS・BSアンテナ電源を「切」にして作業してください。
- ●本品は少し温かくなりますが、これは電子部品の放熱作用によるもので本品の故障ではありません。

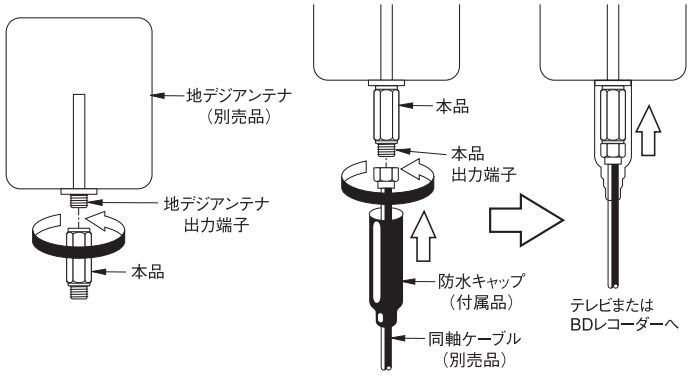
設置方法

①防水キャップを同軸ケーブルの太さにカットする。あらかじめ同軸ケーブルに通し、F型接栓を取付けます。詳細は「同軸ケーブル加工方法とF型接栓の取付方法」をお読みください。

②本品をご使用の地デジアンテナの出力端子に接続します。
※F型接栓適正締付トルク：2N・m（約20kgf・cm）

③本品の出力端子に同軸ケーブルを接続し、アンテナ（本品含み）の出力端子に防水キャップをかぶせてください。

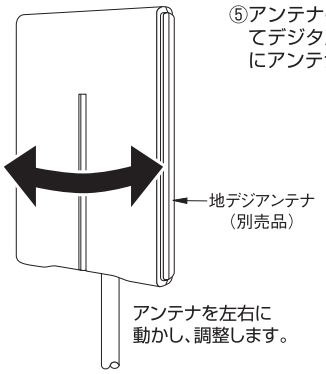
⚠注意 日本アンテナ製以外の地デジアンテナには防水キャップが合わない場合があります。その場合は防水補助テープ（別売品）をご使用ください。



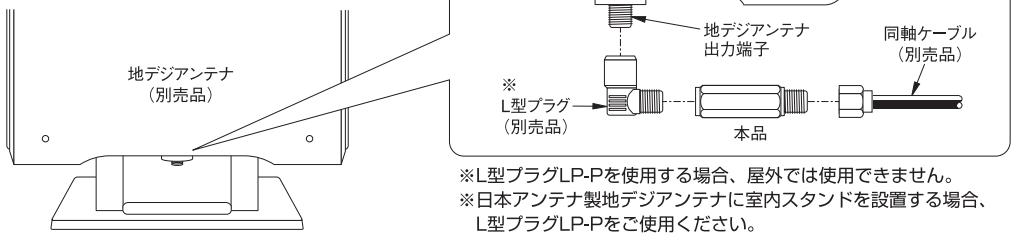
●地デジアンテナの方向調整

④テレビまたはBDレコーダーなどに同軸ケーブルを接続し、常時通電できるCS・BSアンテナ電源を「入」にしてください。

⑤アンテナの向きを調整します。アンテナを動かしてデジタルテレビの受信レベルが最大になるようにアンテナの向きを調整してください。



●室内で地デジアンテナに接続する場合



※L型プラグLP-Pを使用する場合、屋外では使用できません。
※日本アンテナ製地デジアンテナに室内スタンドを設置する場合、L型プラグLP-Pをご使用ください。

接続時の注意

デジタル放送受信について

注1　ブースター設置後、テレビ画面が映らなかったり、画面上にブロックノイズ（モザイク状の雑音）が出る場合は、以下の項目をご確認（調整して）ください。

ーテレビ（チューナー）への入力レベルが低い場合ー
- ●受信エリアをご確認ください。
- ●アンテナの位置、方向および高さなどを変えて、最良の画像が得られるように調整してください。

ーテレビ（チューナー）への入力レベルが高い場合ー
- ●ブースターを取りはずして受信してください。

注2　デジタル放送受信は、所要C/Nが得られないと画面が映らなかったり、ブロックノイズ（モザイク状の雑音）が出る場合があります。

機器の接続について

注3　ブースター設置後、テレビ画面が映らない場合は、アンテナ給電部、入力・出力端子、分波器などの接続が確実におこなわれているか点検してください。また、同軸ケーブルのコネクター加工を点検してください。

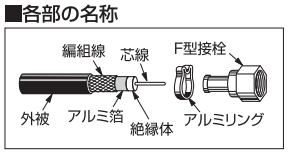
注4　ブースターとテレビまたはBDレコーダーなどの間に電流通過型ではない混合・分配器などが接続されていると、正しく動作しません。電流通過型の混合・分配器などをご使用ください。また、混合・分配器などの電流通過端子または、UHF入力端子に接続されているかご確認ください。

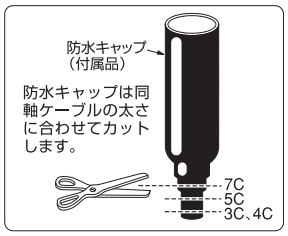
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称





防水キャップは必ず先に同軸ケーブルに通してください。

❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）

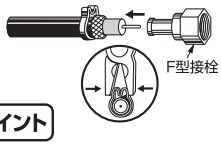
❷ 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

❸ 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

❹ 編組線をめくりあげます。

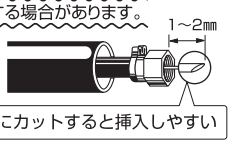
❺ 編組線から3㎜はなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

❻ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。

芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



ポイント
- ●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- ●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合は、きれいにとってください。
- ●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

⚠注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

お客様窓口　**0570-091039**　ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243
ご利用時間　9:00～12:00 13:00～17:30（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221（大代）
ホームページアドレス http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

7101897　平成25年1月